

<認知症対応型共同生活介護用>
<小規模多機能型居宅介護用>

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

I. 理念に基づく運営	項目数	8
1. 理念の共有		1
2. 地域との支えあい		1
3. 理念を实践するための制度の理解と活用		3
4. 理念を实践するための体制		2
5. 人材の育成と支援		0
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援		1
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応		0
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援		1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント		5
1. 一人ひとりの把握		1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し		1
3. 多機能性を活かした柔軟な支援		0
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働		3
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援		6
1. その人らしい暮らしの支援		4
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり		2
合計		20

事業所番号	1472101219
法人名	有限会社 上野興業
事業所名	グループ・ホーム華花
訪問調査日	平成23年11月11日
評価確定日	平成24年1月23日
評価機関名	株式会社R-CORPORATION

○項目番号について
外部評価は20項目です。
「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。

○記入方法
[取り組みの事実]
ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
[次ステップに向けて期待したい内容]
次ステップに向けて期待したい内容について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
家 族 = 家族に限定しています。
運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。
チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1472101219	事業の開始年月日	
		指定年月日	平成18年4月1日
法人名	有限会社 上野興業		
事業所名	グループ・ホーム華花		
所在地	(248-0027) 神奈川県鎌倉市笛田4-1-36		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	6名
		ユニット数	1ユニット
自己評価作成日	平成23年10月31日	評価結果 市町村受理日	平成24年4月26日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	〒221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成23年11月11日	評価機関 評価決定日	平成24年1月23日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

<p>①このホームは、有限会社上野興業の経営である。経営者がこのマンションのオーナーが居住していた、大きい居住空間を改良し父親のためにグループホームを開設した。このグループホームは作りが高級で、しかもアットホームなホームであり、3階建ての2F・3Fを1ユニット6名のこじんまりした空間で暮らし、ご利用者、職員はあたかも1つの家族であるかのように、そして利用者はすっかり自分の家として、皆が楽しく過ごしている。所在は大船駅からの湘南モノレールの湘南深沢駅から徒歩5～6分のところで、鎌倉大仏に抜ける道路の1本奥の道なりにある。街道沿いは店舗があるが、奥は新興住宅地として開発が進んでいる。</p> <p>②理念については、一昨年皆で話し合い、新しい理念を作りあげた。それは「笑顔で、気にかける、心がかかる、肩に手をかける」と言うもので「かける」を3つのフレーズにかけて、職員の心構えを端的に表現している。3つ目の「肩に手をかける」はスキンシップを表すフレーズである。更に「一日一笑」を心がけ、利用者の心に安寧と安心を与え、支援している。職員の研修については、施設内研修、グループホーム連絡会の研修会、県、市の研修会に出席させる他、神奈川県主催の研修事業に参画し、研修にも参加している。介護計画については、基本的にケアマネジャーが原案を作成し、管理者が目を通し、話し合っって作成している。ケアマネジャーは職員からの情報を収集し、自らも介護に入り、実態を把握し、実情に沿った計画を心がけている。計画は利用者の目線に立ち、その人に合ったものを作成するようにしている。</p> <p>③地域との連携については、管理者が地元の方で、地縁も強く、独特な地域関係が出来ている。かまくら地域介護支援機構に関与し、機関紙「輝く介護」編集も受け持ち、また、地域包括支援センター主催の認知症相談会にも参画し、自治会主催の町内会館で行われた作品展にも出展したり、キットネットのバザーに参画する等、公と地域双方に深く関係し、利用者にも楽しい行事への参加が出来ている。</p>

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム華花
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	スタッフが とてもやる気に満ちているので、良い意見が出て、それらを現場に生かしています	2年前、皆で話し合い、新しい理念を作りあげた。それは「笑顔で話しかける、気にかける、肩に手をかける」と云うもので「かける」を3つのフレーズにかけて、職員の心構えを端的に表現した。この理念はうまく定着し、以前よりも、職員意識が、高まった。併せて「一日一笑」も実践し、目線を利用者に向け、スキンシップがご利用者の心の安寧と安心感を与え、利用者が元気になったと感じている。	今後の継続
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のイベントなど、参加したり、しています	先日、正式に自治会に加入し（商店会には以前から加入している）、町内会館で行われる作品展示会に作品を出展したり出来るようになった。役所が震災の協力体制を云ってくれたことで、加入し易くなった面もある。「読み聞かせ」の会、フラワーセラピー、傾聴の人、合唱部などがボランティアに来てくれている。地域のバザーイベント等にも積極的に参加している。カマクラフェスタにハンドベルコンサートを聞きに行っている。	今後の継続
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	神奈川県主催の研修事業に 参加し研修を企画しています		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	地域の方や家族の方が 発言しやすい空気を作り 意見を言っていて サービス向上に生かしています	運営推進会議は2ヶ月に1回実施している。メンバーは自治会長、民生委員、市相談員、地域包括支援センターの方、支援機構の方、ご家族、それにホーム関係者である。ホームの報告を行い、自治会長、民生委員からデータの提供を頂き、地域包括支援センターの方からは「地域密着の役割」などお話し頂いている。地域の方や家族の方が 発言しやすい空気を作り 意見を言っていて サービス向上に生かしている。	今後の継続
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市の方が 気を配って下さるので 何かあればすぐに 協力して下さいます	管理者は地縁の関係も強く、ホームのみならず自宅でも相談が多い。市のいきいき課主催の事業者連絡会のメンバーになっている。生涯学習センターとの関係も深く、鎌倉の日フェスティバルの飾りつけをデイの利用者と一緒に担当し、一緒に楽しんでいる。かまくら地域介護支援機構の機関紙「輝く介護」にも関与し、原稿を寄稿している。市福祉センター主催の介護フェアにも関与している。市の方が 気を配って下さるので何かあればすぐに協力してくれている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	取り組んでいます	身体拘束については、契約書にも記載し、身体拘束をしないケア心がけている。鍵に付いては普通の家と同じで、夜間以外は何時でも開けられるようになっている。干したり、近所の公園、お寺、喫茶店、グルメシティ、サンドラッグなど自由に行っている。言葉はスタッフの高齢化もあり、利用者とのギャップは無い。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	務めています		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	セミナーに参加し日々 学んでいます		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	気を配っています		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	定期的に 家族会を開催 ご家族の御意見要望を 聞き運営に反映させてます	ご家族の方は概して自分の家のように良く来て一緒に楽しみ、忙しくお見えになれない方のご利用者も含めてピアサポートを行い、仲間の中で、慰め・支えられ、また支え役へと、相互に楽しく暮らせるように支援している。運営推進会議の後に定期的に ゆるやかな家族会を開催し、場所を提供し、食事と一緒にしている。ご家族の御意見要望は運営に反映させている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	しています	ミーティングには経営者、管理者が出席し、1か月に最低1回は行い、昼食を交えながら公私共々、話す機会を設けている。職員の意見は充分反映出来ている。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	十分に気を付けてます		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	神奈川県での研修事業の取り組みにスタッフも参加して取り組んでいます		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	鎌倉市内の地域密着の管理者、スタッフの人たちと定期的に交流会を企画しています		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	スタッフを含め入居者も一緒に皆で取り組んでいます		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	管理者が24時間いつでも、相談に乗れる体制をとっています		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	スタッフ みんなで取り組んでいます		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	築く努力をしています		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	築いています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	手紙を書く支援 なにかあれば お呼びしたりしています	地域との関係は前述の通り良好な上、ご利用者も地元の方が多い。フラワーセラピーに入居者の友人が参加したり、入居前に関係があった宗教関係の方が訪ねて来たり、手紙を書く支援や、何かあればお呼びしたりしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	務めています		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	イベントなどにお誘いしたりしています		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	入居者が言いたいことを言える空気づくりをしているので 言いたい放題です	入居時のアセスメントで聞く他、日常のホームでの暮らしの中で、楽しい発見、生きがいを見出してもらうよう努めている。利用者は、活発に意見を言っておられるので、云われた事は実現できるように努めている。ホームは、“一つの家族”としての生活が定着していると感じられる。さいか屋の物産展などにも一緒に行っている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	務めています		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	務めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	作成しています	介護計画については、ケアマネが原案を作成し、管理者が目を通し、カンファレンスで話し合い作成している。ケアマネは実際のケアにも入り、実情を掴むようにしている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	十分に気を付けてます		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	スタッフが とてもやる気に満ちているので、良い意見が出て、それらを現場に生かしています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	図書館に行って その方が読みたい本などを借りて来てます		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	支援しています	ご家族、ご本人と話し合った上、これまでのかかりつけ医に通う方や、ホームのかかりつけ医に変える方等、個々の良い方に決めてもらうよう支援している。殆んどがホームのかかりつけ医に通院し、必要に応じ往診を受け、健康管理してもらっている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	しています		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	みんなでしています		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルの取り組みをきちんと文書化し計画をたて 取り組んでいます	医療連携体制をとり、看護師もかかりつけ医の看護師と契約し、24時間連携体制を図っている。ターミナルケアに感ずるセミナーには、積極的に参加し、ご本人、ご家族等、かかりつけ医、管理者等で十分に話し合いを重ね、一番良い方法を見つけ、ご家族の気持ち（ここでの看取り）に沿って取り組んでいる。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	セミナーに参加し日々 学んでいます		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年に二回 防災訓練をし 取り組んでいます	地域の避難訓練にも参加している。心肺蘇生法の実習では、入居者の方も参加し、興味を持って救命士の方の話を聞いてくれた。年に二回防災訓練を実施し、ハザードマップも準備し、備蓄はレトルト、バナジュウム水など準備している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	尊厳維持に努めています	特に職員の教育に力を入れ、人格の尊重やプライバシーの確保の研修にも出席し、勉強している。入居者の方の話しかけにも 子供に対する様ではなく、目上の方に対しての丁寧な話しかけを心掛け、そしてアイコンタクトをしながら話すように努めている。	今後の継続
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	十分に働きかけてます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	そってます		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	一緒にお洋服を選んで、おしゃれしています 時には スタッフの身だしなみを利用者がしてくれる事もあります		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	しています	その日々に、一緒にメニューを考え、一緒に買い物をし、一緒に作り、片付けをしている。また、無理強いはせず、ご利用者の自主性を大事にするように心掛けている。ご利用者はチラシを見て、これが食べたいと云い合い、お寿司なども皆で作る等、楽しい食事を家族みんなで行っているような感であり、一人ひとりを大切に考えている。外食もうなぎ、そば、回転すしなどに行っている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている			
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	しています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	しています	入院などをして、常時オムツになってしまった方、自宅でオムツを使用していた方などについては、オムツを外す努力をし、昼間は普通のパンツになった方もあり、快適に過ごしてもらえるよう支援している。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	取り組んでいます		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	しています	個々の入浴されるタイミングを把握し、そのタイミングに合わせて、連携しながら入浴できるよう支援している。お湯は一人一人代えている。アロマを活用し、職員はハンドマッサージやソフトマッサージなど覚えて利用者にして差し上げている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	しています		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	務めています		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	十分に取り組んでいます		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	支援しています	朝の体調、天候を加味し、朝刊のチラシと一緒に見て、例えば、デパートの物産展等、その日に行ける方と出かけたりしている。タクシー会社が近くにあり、6人なので3台に分乗して乗り、迎えに来てもらう体制で近郊の観光スポットに皆で度々出かけている。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	バザーに出かけたり、お祭りに行ったり、スーパーに行ったり支援しています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	しています			
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	アロマを活用したり 花を生けたりしています	コンセプトは普通の家であり、幼稚園的なインテリア・飾りは行わない方針とし、季節感は生花で表現し、スタッフに「自分の家ならどうするか」を問わせ、入居者の方と一緒に居心地いいホームにするよう努力している。スタッフでセンスの良い人がいて、利用者にもお花の先生がいて一緒に飾ってくれている。		今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	しています			
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	工夫をしています	このマンションのオーナーが居住していた大きいマンションを改良し、作りは高級であり、居室は個性のある全部異なる作りで、家庭的雰囲気充分ある。本人及びご家族は自分の居室を思い通りに使っており、ホームとしてもそれを十分に心がけている。		今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	しています			

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム華花

作成日

平成23年11月11日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
		入居者の中でボス的な人が出来、意見を言えない人が出来ている。	公平に	公平になるよう心がける。ボス的な人にも気を配る。	1ヶ月位

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。